



学校だより

令和2年1月31日
横浜市立豊田小学校
2月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

「開く」

副校長

少し前の話になります。冬休みに私が帰省から戻ってくるために、新幹線に乗ったときの出来事です。その日は、席が満席で、通路にも大勢の人が立たざるを得ない状況がありました。その状況の中で、私は子どもを抱えたまま立っていました。しばらくすると「どうぞ、お座りください」と声をかけてくださる方が現れました。そのとき、私は温かい空気に包まれ、嬉しい気持ちになりました。ただ、体力には多少自信があり、他の方も大変な状況だったので、お礼を述べつつ、丁重に辞退させていただきました。

温かな状況は、それだけでは終わりません。気付いたら、上の2人の私の子ども（9歳と5歳）は、近くに座っていた高校生に席をゆずってもらい、座っていました。混雑のため私と子どもたちとの距離も若干離れた状態になり、不安がっている様子を見かねて、この高校生も席を譲ってくれたのでしょう。

大変な混雑でしたが、周りの方々の振る舞いを通して、安心して過ごすことができました。

この経験を通して、自分自身がいざというときに「助けてもらえる」「受け入れてもらえる」という環境が、大きな支えになることを実感しました。そして、学校もこのような場所でありたいと改めて思いました。

そのためには「開く」ということが大切になってきます。新幹線で起きた出来事も勇気をもって自分自身の心を開き、声をかけたり、行動を起こしたりしてくださった方々がいたからこそ生み出されたと思います。

「一人ひとりが勇気をもって心を開き、お互いに支え合う」

これからの時代に必要な力ではないでしょうか。